



10月の園だより



令和8年9月29日
江東区立元加賀幼稚園
園長 貞方 敦子

3学級(異年齢)の中で育ち合う

副園長 吉田 元

先日の登園時、ある保護者の方から嬉しいお話を伺いました。家族で公園に遊びに行った際、お子さんが公園の遊具で遊ぶ小さな子が遊び終えるまで、順番を待ったり、温かく見守ってあげたりしている姿に成長を感じたとのことでした。園生活の中でも、年長組のこどもたちが年中組、年少組のこどもたちに優しく声を掛けたり、一緒に遊んだりする姿が見られます。幼稚園での異年齢との関わりが、園外でのこのような姿を生み出していると嬉しいです。

好きな遊びでのことです。プリキュアになりきってショーごっこを楽しむ3人の年長児がいました。自分たちで衣装を作って、踊りを考えたり、踊りのパートを分けてみたりしながら楽しんでいました。楽しそうに踊る姿に年長組だけでなく、通りかかった年中組、年少組も思わず見とれ、観客になって楽しんでいました。きっと、楽しそうに踊る年長児の姿にときめき、心が動いていたのだと思います。

翌日、職員室から年少組のテラスを覗くと、お面ベルトに星やハートを付けた女兒が音楽に合わせて踊っていました。年長組のショーごっこを受け、年少組でも踊りを楽しめるように、年少組担任が音楽やステージを用意したようです。私は、嬉しくなって、年少児の様子をショーごっこを楽しんでいた年長児に教えてあげました。すると、年少児の踊りに年長児が自然に加わり、「一緒にやろう」「こっちで踊ろう」と声を掛けながら自分たちの遊びに誘ってあげていました。年長児がいつの間にか「自分より小さい子に優しくしたい」「一緒に楽しみたい」という気持ちをもつようになっていると感じました。そして、年少児にとっても、少し先を歩く年長児の姿は、身近な憧れとなります。「お姉さんみたいにやってみたい」という思いが溢れたのか、「年長児と同じ衣装が着たい。」「一緒に遊びたい」などの思いを担当に表していました。このことは、遊びへの意欲や新しいことに挑戦する気持ちにつながっていきます。

幼児期のこどもたちにとって、異年齢の友達と関わる経験には大きな意味があります。同じ年齢の友達との関わりでは、互いの思いを出し合いながら遊びをつくっていきますが、異年齢の関わりでは、年齢や発達の違いがあるからこそ、「相手に合わせる」「相手の気持ちを考える」「教えてあげる」「真似をしてみる」といった様々な経験が生まれます。もちろん、いつも年長児が年少児を助けるということではありません。年少児の素直な反応や自由な発想に刺激を受け、年長児が新しい遊び方を見付けることもあります。互いに関わる中で、それぞれのこどもが自分のよさを発揮し、相手から学びながら育っていきます。これからも、異なる年齢のこどもたちが自然に関わることでできる機会を大切にしていきたいと思います。教師がすべてを仲介するのではなく、こども同士が「一緒に遊びたい」「やってあげたい」「やってみたい」と思える環境を整え、一人一人の気付きや優しさを温かく見守っていきます。

園での異年齢との関わりを通した経験が、冒頭にお伝えした保護者が感じられた成長や様々な出会いの中で、関わる嬉しさにつながっていくことを願っています。

今月の指導のポイント

年少いちご組

園生活の流れを感じ、朝の身支度や弁当の準備など自分でやるのが分かって生活する様子が見られるようになりました。困った時には、「手伝って」と言葉に出すなど、自分の気持ちを表すことができるように、場面に合った具体的な言葉を知らせています。

また、学級の友達と関わりたい気持ちが高まっています。「一緒にやりたいな」「かして」など必要なやりとりができるように、教師が仲立ちをしていきます。学級で一緒に活動をする楽しさを感じながら、園庭でも体を動かしたり、踊りを踊ったりして、年中・年長さんと一緒に活動する楽しさも感じられるようにしていきます。

年中たんぽぽ組

園生活のリズムを取り戻し、友達と一緒に遊びの場をつくり、ごっこ遊びや色水を作って遊ぶことを繰り返し楽しんでいます。友達のすることに興味をもち、同じ動きをしたり友達と会話を楽しんだりして遊ぶ姿も増えてきています。

今月は、体を動かしたり踊ったりすることを楽しみながら、体を動かす心地よさを十分に感じられるようにします。また、学級の友達や幼稚園の友達と一緒に活動する楽しさを十分に味わえるようにしていきます。

季節の変化を感じたり飼育物や栽培物に関わったりするなど、身近な自然に関わる中で、様々なことを感じたり気付いたりすることを大切にしていきます。

年長つばめ組

昨年のことを思い出し、つばめ組として「うんどうフェスタ」という共通の目的に向けて、少しずつ取り組みが始まっています。踊りや体操、リレーなど、学級の友達と楽しんできたことをお家や地域の方に応援していただくことを楽しみにしています。また、年長組として「うんどうフェスタ」を進めていく中で、司会や係にも挑戦します。自信をもって当日を迎えられるように、友達と一緒に準備をしていきます。遊びや生活を通して、友達と一緒に考えたり、力を合わせたりする楽しさを味わえるようにしていきます。

過ごしやすい気候になりますので、園庭で固定遊具や縄跳びなどにも挑戦する機会をつくったり、園庭の自然の変化などにも目を向けて、季節の移り変わりを感じたりできるようにしていきます。

10月の行事予定

⑤年長組保護者参加 ④年中組保護者参加 ③年少組保護者参加 ◇該当保護者参加

日	曜	行 事
1	木	都民の日 諸経費引き落とし日 にこにこたいむ申込 (10/6分)
2	金	衣替え移行期間始 安全指導 スクールカウンセラー相談日
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	にこにこたいむ④⑤ 弁当給食
7	水	誕生会
8	木	
9	金	前期終業式 衣替え移行期間終 ◇PTA 役員会
10	土	
11	日	
12	月	スポーツの日
13	火	後期始業式 にこにこたいむ申込 (10/15分)
14	水	園児親子登園「かんがるーひろば」
15	木	うんどうフェスタ予行練習 にこにこたいむ④⑤
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	うんどうウィーク (⑤9:20~9:40)
20	火	うんどうウィーク (⑤ 9:20~9:40) (④13:30~13:40) 弁当給食
21	水	※弁当あり うんどうウィーク (④ 9:20~9:40) (③13:30~13:40)
22	木	※午前保育(弁当無し)(第五砂町幼稚園研究発表) うんどうウィーク (③⑤9:20~9:40)
23	金	うんどうフェスタ前日準備 (13:00 降園)
24	土	うんどうフェスタ 園児親子登園「かんがるーひろば」
25	日	
26	月	振替休業日
27	火	弁当給食
28	水	
29	木	音楽会
30	金	避難訓練 案山子見学
31	土	

【園児募集開始 1日(木)~】

令和9年度 園児募集が始まります。3、4歳児同時募集です。入園申し込みの詳細については、10月1日の「こうとう区報」に掲載されます。お知り合いに、対象の方がいらっしゃったら、お知らせください。

【スクールカウンセラー相談日 2日(金)】

スクールカウンセラーの半田知佳臨床心理士が来園します。子育てのこと、ご家族のこと、保護者ご自身のことなど、相談できます。スクールカウンセラー相談を希望される方は、希望日の前日朝までに配布済みの手紙に希望時間をご記入の上、園長もしくは副園長にお知らせください。

【衣替え移行期間 2日(金)~9日(金)】

気候を考え、2日~9日までは移行期間とします。気温に合わせて園服・園帽(冬用)を着用してください。冬の制服になるのは、13日(火)からとします。

【③④⑤うんどうフェスタ 24日(土)】

配布済みの手紙をご覧ください。またうんどうウィークは、ご自由にご参観いただけます。写真、ビデオ等は、遠慮ください。

【保育時間の変更 21日(水)・22日(木)】

第五砂町幼稚園研究発表への参加のため、次のとおり保育時間を変更します。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

- ・ 21日(水):弁当あり
- ・ 22日(木):弁当なし(午前保育)

【音楽会 29日(木)】

東京文化会館による、出張コンサートを実施します。クラシックや様々な楽器の音色に親しみをもつ機会としていきます。

【案山子見学(雨天中止) 30日(金)】

今年度も深川資料館通り商店街協同組合主催の案山子コンクールに参加しました。その出品作品を見学に行きます。深川資料館通りに展示してありますので、保護者の皆様もぜひお子さんと一緒にご覧ください。

(展示中~11月3日まで展示予定)

※ 案山子制作にご協力いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

【避難訓練 30日(金)】

地震及び津波警報が発令されたの避難を想定した訓練を実施します。プラザ元加賀と連携を図り、高い場所まで避難します。

【さつまいも堀り・会食】

年長つばめ組が育てているさつまいものなりを見てさつまいも堀りをします。こどもたちと相談し調理して食べる予定です。

11月の保育時間変更及び保護者の方に参加していただく行事

5日(木) 園外保育(③、④、⑤) プロナチュラリスト佐々木先生 ※③年少組は親子で参加します。

9日(月) 開園記念日(お休みです)

10日(火) 観劇会(つばめ幼稚園合同) 降園時間変更あり。

13日(金) ◇評議員会 15:00~

16日(月) ◇ブックさん

18日(水) 弁当あり 19日(木) 新入園児健康診断のため、弁当無し